



COP28 における サイドイベントの開催等について

国立研究開発法人 森林研究・整備機構

森林総合研究所

平田泰雅

COP28の概要

- 2023年11月30日から12月13日にかけて、ドバイ（アラブ首長国連邦）において開催
- 参加登録者数：80,000～110,000人（報道機関により差があり）
- COP28の議論のポイント
 - ロス&ダメージに対応するための新たな資金措置の制度の大枠の決定
 - グローバルストックテイク
 - 化石燃料からの脱却



> The Main Venue

EXPO CITY DUBAI

登録者（政府代表、NGO、メディア）
のみ入場可能

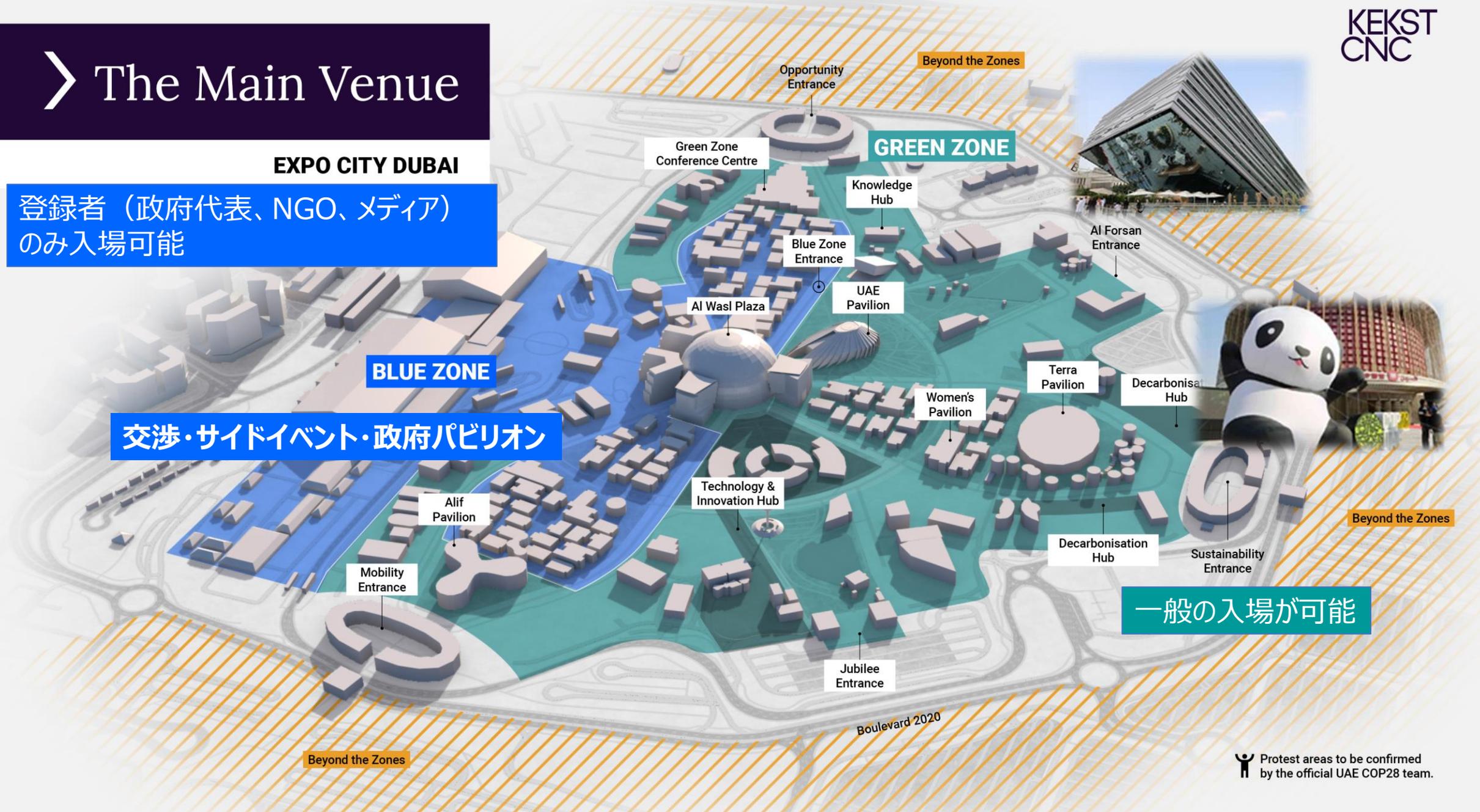
交渉・サイドイベント・政府パビリオン

一般の入場が可能

Beyond the Zones

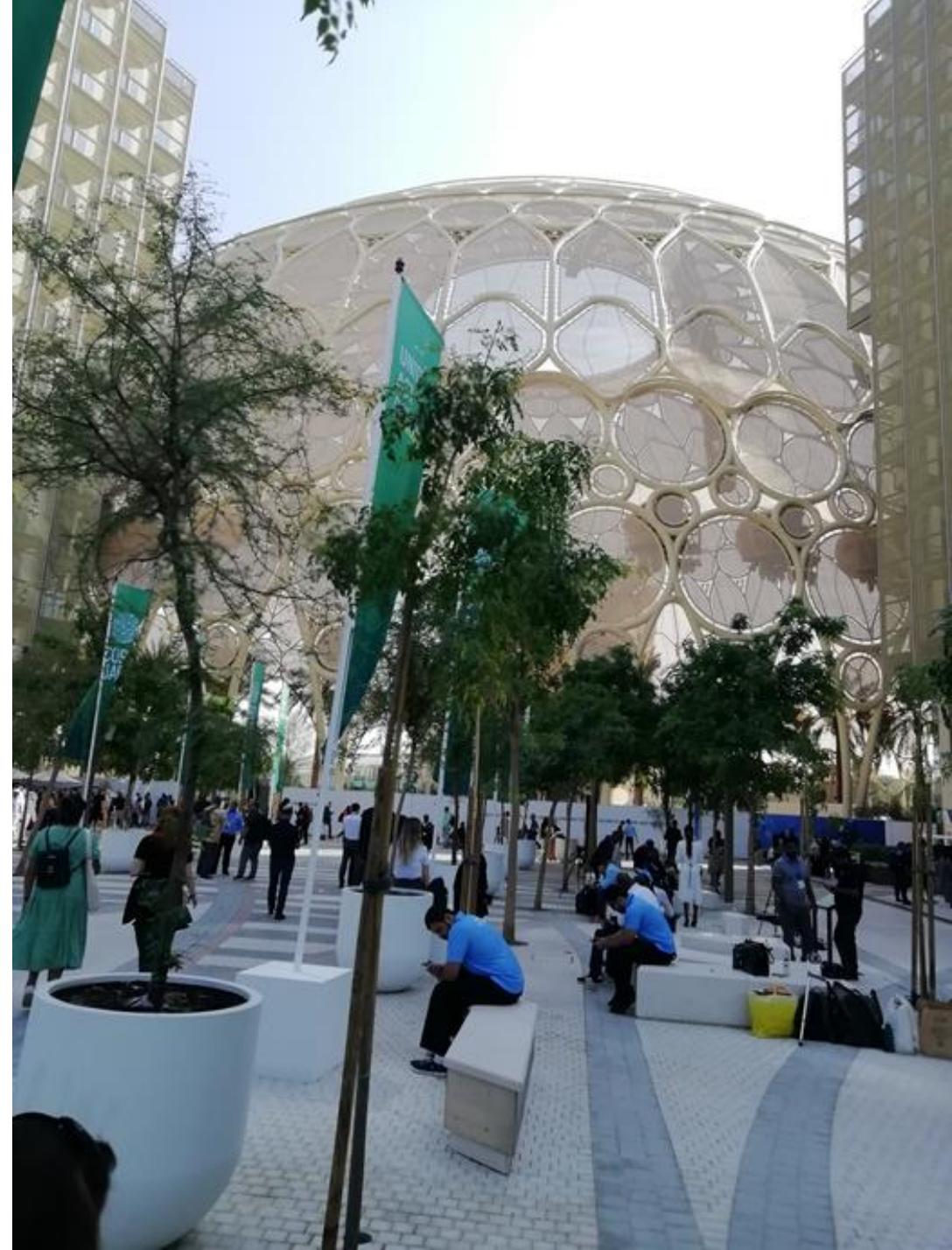
Boulevard 2020

 Protest areas to be confirmed
by the official UAE COP28 team.



本日の話題

- **COP28の概要**
- **公式サイドイベント開催**
(ITTO, 森林総研)
持続可能な森林管理の推進：炭素と生物多様性のための資金調達メカニズム
- **ジャパン・パビリオン サイドイベント開催**
(森林総研、ITTO)
持続可能な森林経営を通じた気候変動の緩和策及び適応策の促進
- **所感**



持続可能な森林管理の推進 - 炭素と生物多様性のための資金調達メカニズム -

- イベント名（英語）

Advancing Sustainable Forest Management:
Financing Mechanisms for Carbon and Biodiversity

- 主催 ITTO、森林総合研究所、ペルー・アマゾン先住民連盟

- イベント開催日 2023年12月5日（火） 21:45～23:15（日本時間）

- 参加者数 来場者 60名程度 YouTube視聴？

- イベントの概要

- ✓ 森林をベースとした気候変動への適応、緩和、生物多様性の保全を支援する持続可能な資金メカニズムを確立する緊急の必要性を議論
- ✓ 先住民族、地域コミュニティ、女性、若者の森林管理へのエンパワーメントにより、具体的な社会経済的利益を生み出すことに焦点



持続可能な森林管理の推進 - 炭素と生物多様性のための資金調達メカニズム -

- プレゼンテーション:

1. Mr Oseas Barbarán Sánchez (ペルー・アマゾン先住民連盟) : 先住民への直接気候投資
2. Dr. Hwan-ok Ma (ITTO) : 持続可能な熱帯林経営(SFM) : 炭素排出削減と木材生産向上のためのNbS
3. 平田泰雅 (森林総研) : SFMによる気候変動に対する森林の適応と緩和の相乗効果
4. Ms Faiha Azka Azzahira (ガジヤマダ大学国際林学学生協会) : 熱帯林の回復、保全、管理のために若者に力を与える
5. Ms Suneetha Subramanian (UNU-IAS): 熱帯における森林景観再生の推進 : ITTOプロジェクトにおける女性の社会生態学的レジリエンスとエンパワーメントの経験と教訓 (オンライン)



持続可能な森林管理の推進 - 炭素と生物多様性のための資金調達メカニズム -

森林総研からの話題提供

「SFMによる気候変動に対する森林の適応と緩和の相乗効果」

平田泰雅 森林管理研究領域研究専門員

発表のポイント

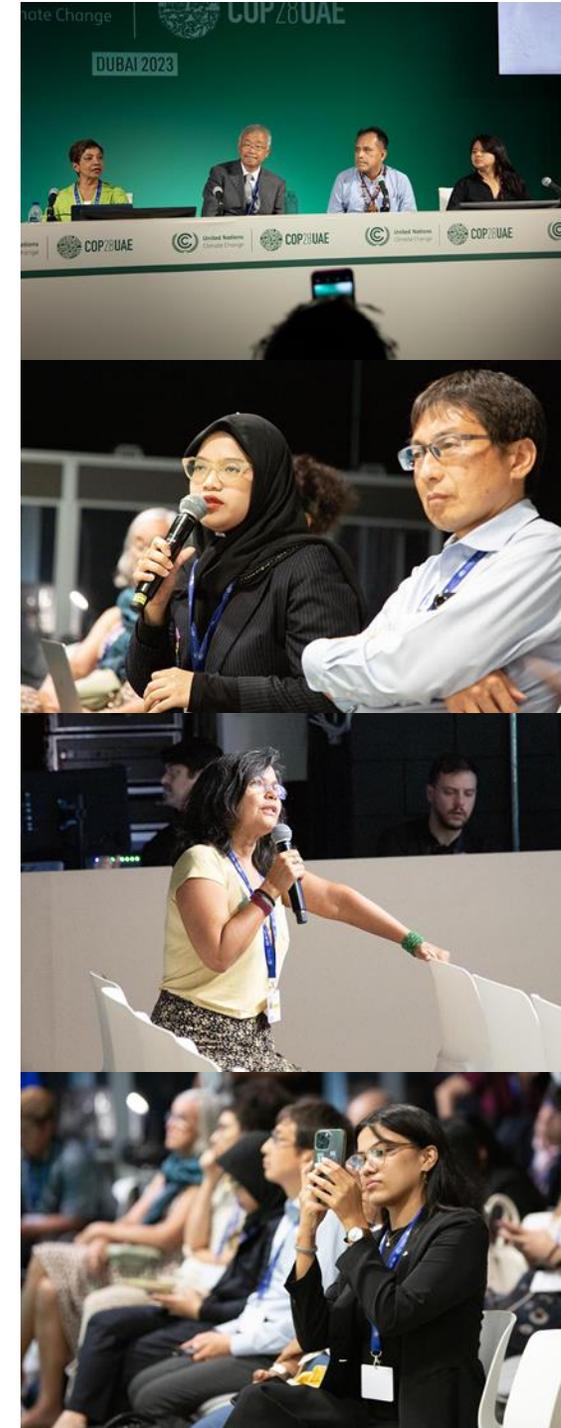
- 森林の機能を活用した防災・減災に関する国際プロジェクトは数少ない。
- 森林保全に使える資金が限られていることを踏まえ、適応策や緩和策に貢献するプロジェクトを期待する。
- 適応には、災害リスクの高い地域での植林と保全が必要である。



持続可能な森林管理の推進 - 炭素と生物多様性のための資金調達メカニズム -

キーマッセージ

- 熱帯林は、持続可能な森林経営の可能性を実現するために**必要な投資を得るのに苦労**してきた
- 熱帯林の損失を減らし、経営を最適化し、生態系サービスを充実させ、先住民族や森林に依存するコミュニティを含む社会的・生態学的な強靱性を高めるために、**熱帯林のための持続可能な資金メカニズムを導入**することが「最も重要」
- 熱帯林には公的資金の拡充と同様に**民間部門からのさらなる投資**が必要
- 政策立案者は税制改革やブレンドファイナンス（Blended Finance）などを通じて、**投資家のリスクを軽減するインセンティブを生み出す努力**を重ねる必要



持続可能な森林経営を通じた気候変動の緩和策及び適応策の促進

- イベント名（英語）

Sustainable Forest Management for the mitigation and adaptation against climate change

- イベント開催日 2023年12月5日（火） 19:45～21:00（日本時間）

- 参加者数 来場者 40名程度 オンライン視聴 50名

- イベントの概要

- ✓ 持続可能な森林管理と、炭素吸収源や再生可能エネルギーとしての持続可能な木材利用は、気候変動の緩和に貢献
- ✓ 日本は戦後荒廃した森林を世界有数の森林被覆率まで回復させ、過去の経験に基づき途上国の森林減少に対する取り組みを支援
- ✓ 途上国における林業活動を通じて緩和と適応の双方を促進する方法を探索





2023.12.5 Tue.

14:45 - 16:00

持続可能な森林経営を通じた気候変動の緩和策及び適応策の促進

主催者

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所

共催者

林野庁、国際熱帯木材機関（ITTO）、住友林業株式会社

セミナー概要

概要

森林は海洋を除く最大の温室効果ガス吸収源である。持続可能な森林経営、そしてそこから生産される木材を幅広い用途で賢く利用することは、代替効果や木造建築等における炭素貯蔵を通じて気候変動緩和に資するとともに、自然災害を軽減する適応策にもなりうる。また、我が国は戦後の荒廃した森林を世界有数の森林率にまで回復させるとともに、森林減少や違法伐採などに対する途上国の取組を継続的に支援している。今次セミナーでは行政、研究、民間、国際機関から登壇者を迎え、途上国における森林セクターの取組を通じた気候変動対策について議論する。

開会 -5分-

発表1 「カーボンニュートラル実現に貢献する持続可能な木材利用の推進」 -10分-

越前未帆 林野庁森林利用課 森林炭素取引活性化企画官

発表2 「ケニアにおける景観回復と気候変動の緩和・適応のための持続可能な森林管理」 -10分-

Mr. George Tarus ケニア環境気候変動森林省 森林保全局長

発表3 「気候変動緩和対策に資する持続可能な木材利用に向けたITTOの取組について」 -10分-

Ms. Sheam Satkuru 国際熱帯木材機関 事務局長

発表4 「持続可能な森林経営による土砂災害の防災・減災戦略と途上国への展開」 -10分-

岡本 隆 森林総合研究所 治山研究室長

パネルディスカッション -25分-

平田 泰雅（モデレーター） 森林総合研究所 研究専門員

閉会 -5分-



持続可能な森林経営を通じた気候変動の緩和策及び適応策の促進

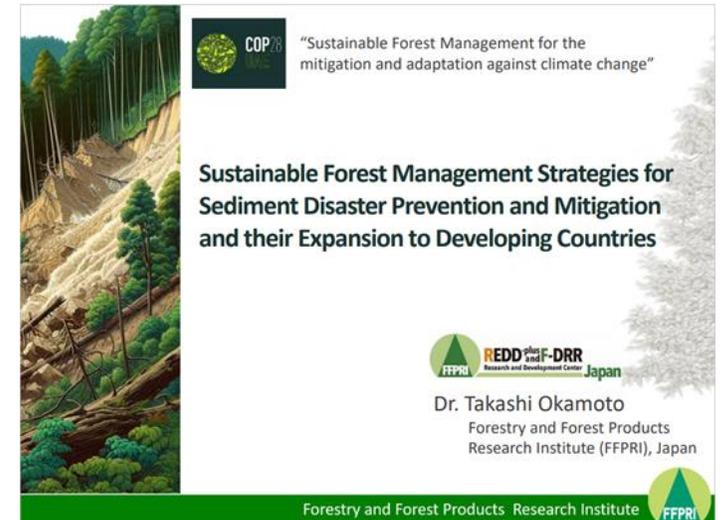
森林総研からの話題提供

「持続可能な森林経営による土砂災害の防災・減災戦略と途上国への展開」

岡本隆 治山研究室長

発表のポイント

- 日本では、防災減災に特化した独自の森林管理技術が生まれた。
- これらの技術は、発展途上国の森林再生に大きく貢献する可能性を秘めている。
- 森林再生を成功させるためには 各途上国の社会的・経済的課題にも取り組む必要がある。



ジャパン・パビリオンで開催されたイベント

	12/1 (金)	12/2 (土)	12/3 (月)	12/4 (火)	12/5 (水)
10:30～ 11:45	環境省、国際応用システム分析研究所 IIASA-Japan 都市に関する合同PJ	一般社団法人SWiTH 世界の若者がつながる、気候変動教育	NEDO イノベーションによる脱炭素への挑戦：ICEFロードマップ発表イベント	経済産業省 Taking action together with ASEAN	経済産業省 Tech for Transition
13:00～ 14:15	JICA 気候変動に強靱な開発の実現に向けた現状と課題	環境省、福岡市 世界の埋立地から排出されるメタンガスを削減する！ ～ 福岡方式の可能性を探る～	経済産業省 ネットゼロ社会に向けた削減貢献量の適切な評価	経済産業省 Unlocking capital for net-zero in Asia: challenges and solutions on transition finance	気候変動イニシアティブ 1.5℃に向けてともにアクション：日本社会が持続可能な脱炭素社会を実現するために
14:45～ 16:00	IGES 自治体が主導するレジリエントなゼロカーボン・持続可能な社会への移行	東京大学 日本の2050年ネットゼロ達成に向けたトランジション戦略上の隘路及び対策	環境省 二国間クレジット制度（JCM）実施の促進と拡大	経済産業省、財務省、環境省 GX投資拡大における国債の役割	森林総研 持続可能な森林経営を通じた気候変動の緩和策及び適応策の促進
16:30～ 17:45	NPO法人STSフォーラム 地域毎の気候変動適応策に関する特別シンポジウム	環境省 G7地方の環境行動ラウンドテーブルの成果	環境省 サステナブルファイナンスの動員による未来への投資促進 ～コ・イノベーションのための透明性パートナーシップ（PaSTI）を通じたアジアのアウトルック～	GFANZ（アジア太平洋ネットワーク日本支部） 高排出産業のトランジションを促すファイナンス	環境省、経済産業省 高効率エアコンとフロンライフサイクル管理による緩和と適応への貢献
18:15～ 19:30				日本国際銀行、日本ガス協会 エネルギー・トランジションに向けたJBICの取組／水素サプライチェーン構築の展望と課題	

ジャパン・パビリオンで開催されたイベント

	12/6 (水)	12/8 (金)	12/9 (土)	12/10 (日)	12/11 (月)
10:30～ 11:45	環境省 クリーン・シティ・パートナーシップ・プログラムセミナー ～気候変動、汚染、生物多様性の損失を含む都市課題の解決に向けて～	日本経済新聞社 決意から実行へ ～脱炭素社会の実現に向けた日本企業の取組～	環境省、国環研、JAMSTEC GOSATシリーズ衛星による温室効果ガスと大気汚染観測の持続可能な開発への貢献	環境省 ロス&ダメージの最小化と対処のための早期警戒システム導入促進：アジア太平洋地域でEWSをいかに推進するか	産総研 カーボンニュートラルの実現に向けたRD20の挑戦
12:00～ 13:00		日本政府 気候変動に関する日本の国際協力			
13:00～ 14:15	日本気候リーダーズ・パートナーシップ 1.5°Cロードマップで拓く未来へのビジネス変革プラン	東南アジア諸国連合事務局、環境省 ASEANのネットゼロ・レジリエントな社会実現に向けた国際的協働の加速	経団連、日本エネルギー経済研究所、地球産業文化研究所 GX（グリーントランスフォーメーション）を通じた持続可能な成長に向けて	環境省、経済産業省 2023G7議長国日本の総括イベント	環境省 国際連携によるブルーカーボンの推進
14:45～ 16:00	国際連合大学サステイナビリティ高等研究所 パリ協定の実施能力強化に向けた道筋とは ～地域リーダーズ・ダイアログ～	IGES シナジーによる気候変動・生物多様性・SDGsの同時解決をアジア太平洋で実現する	環境省 パリ協定6条実施パートナーシップ（A6IP）を通じたNDCの強化～6条実施支援パッケージの発表～	環境省 「循環経済と資源効率の原則」（CEREP）と「グローバル循環プロトコル」（GCP）を通じた循環ビジネスの促進	環境省 ネイチャーポジティブ経済を実現するための、技術、製品・サービス、ビジネスモデル
16:30～ 17:45	一般社団法人日本自動車工業会 DIVERSITY IN CARBON NEUTRALITY	環境省 COP28 Side Event Seminar for Net-Zero and Well-Being in Life	環境省 第9回JCMパートナー国会合	農林水産省 強靱で持続可能な農業と食料システム構築のためのJCMの活用について	国環研 科学的知見に基づいたツールによる気候変動適応の強化：気候予測とリスク評価に関するユーザー参加型セミナー
18:00～ 19:15	経済開発協力機構 「地域的アプローチ」を通じた気候行動・レジリエンスの推進の重要性				地球環境産業技術研究機構 「地域的アプローチ」を通じた気候行動・レジリエンスの推進の重要性

サイドイベントのテーマの傾向

- 公式サイドイベントでの傾向
 - REDD+関連 3件
 - Disaster Risk 8件
 - NbS 2件
 - SFM 1件 /364件
- ジャパンパビリオンでの傾向
 - 環境省 18件 (COP27 11件)
 - 経済産業省 7件 (6件)



United Nations
Climate Change



COP28 UAE

DUBAI 2023

معاً لتحويل التعهدات
إلى إجراءات

LET'S TURN PROMISES
INTO PROGRESS

所感

- 回を重ねるごとに規模が拡大
- それに合わせてイベントの数も大幅に増加
- 関連イベントを見つけるのにも苦労
- グリーンゾーンは博覧会の様相
- 森林そのものを対象としたイベントは減少しているとの印象
- 参加者の所属団体も大きく変化
- 経済界からの参加者が大きく増加
- 2年続けてアラブの国（エジプト・アラブ共和国、アラブ首長国連邦）であることが会議の方向性に影響

